

『一心千里』

永田 隆一

走ってれば、
見えてくる



第82回

先日 大阪の難波・千日前中央通りの屋下がり。大阪府警の警官2人が60歳代後半の男性を職務質問している現場に遭遇しました。「ご主人、酔っておられますね」「酔ってたら悪いんですか。わいはこの素晴らしき人生に酔って生きてきたんじゃない」。筆者は心が洗われたような清々しい気持ちになりました。

さて、2015年度は大手企業の業績が大きく回復したと報道されておりますが、全くその実感がなく筆者は調べてみました。例えば、5年間で正社員を減少させたトップ5

- ①パナソニック 13万502人
- ②NEC 4万3476人
- ③ソニー 3万6200人
- ④フアナック 3万1965億円
- ⑤キヤノン 4兆1573億円
- ⑥ソニー 3兆8785億円
- ⑦フアナック 3兆3321億円
- ⑧三菱電機 2兆7838億円
- ⑨キーエンスの電子機器は使い勝手が良いことで評判です。しかし、売上高は4000億円に届いておりません。そして、日立製作所やパナソニックは時価総額が3兆円に届いておりません。株価がマネーゲームの対象になっっているのではないかな

病める社会の不条理と 夢や希望を抱き続ける心

日立製作所 2万3076人、⑤富士通 1万3592人。5社の正社員を辞された25万人はどこで再就職されているのでありましよう。平均家族構成を4人と想定すると、100万人への影響があります。

また、東証電機セクターの時価総額トップ5は、①キートンス 4兆

と、不安な気持ちをご否定できません。

テレビ向け32インチ液晶パネルのオープンセルの価格は現在50ドルです。この価格は調達部品コストを下回っており、LEDの在庫が8年分積み上がっているとも聞きます。最近クレイジーホースと揶揄され始めたレッドチャイナの常軌

を逸した巨額設備投資が原因と言われていますが、明日が全く見えない状況であります。

さて、6月20日が前都知事の都庁への最終登庁日でした。選挙の経費には50億円が必要です。筆者は、1000社の中小企業へ設備投資が研究開発用途で500万円ずつ差し上げた方がよほど効果

果の高い使い道だと考えたいと思います。病める社会は不条理に満ち溢れている。そんなふうに見える。そんなふうに見える。そんなふうに見える。

《曾國藩の四耐》
中国に「四つの忍耐」という言葉があります。

冷たい社会に耐えること、苦しい人生に耐えること、煩わしい世間に耐えること、退屈に耐えること、です。

希望や夢があれば耐えられるものかもしれません。しかし、耐えることが常態になってしまつて、人はロボットのようになを閉ざして淡々と生き始めるようになります。筆者の知り合いにもそういう方がおられます。

《幸福のものさし》
人には、幸福を感じるようなものがあるはずで、歴史を讀むことで、

その場の「福」と「禍」は、長い目でみると、全く違つた意味で個人に訪れていることがあることを学びます。また、退屈は疲労が溜まります。どんなことでも、仕事をしている元気が出ます。

多くの体験を通じて視野を広げることで、心に余裕が生まれます。自分が誰かに必要とされていること、誰かの役に立っていることに気付くことで、少しだけ温かい気持ちになれます。これが続くこと、自信と意欲もおのずと湧いてきます。

件の大阪の親父の言葉、「わいはこの素晴らしき人生に酔って生きてきたんじゃない」。筆者は真似て声に出して言ってみます。すると、不思議と微笑みと元気が湧いてくるではありませんか。読者の皆様へもお薦めいたします。

(毎月連載)